

平成 27 年度第 3 回臨時理事会議事録

日時 平成 27 年 6 月 20 日 (土) 15:55~16:40
会場 都市センターホテル 3F 「コスモスホールⅡ」

出席者：

理事長：藤井 知行

副理事長：木村 正、八重樫伸生

理事：青木 大輔、井坂 恵一、苛原 稔、牛嶋 公生、岡本 愛光、加藤 聖子、北脇 城、
吉川 史隆、工藤 美樹、齋藤 滋、齋藤 豪、竹田 省、藤森 敬也、三上 幹男、峯岸 敬、
村上 節、森重 健一郎、山田 秀人、山本 樹生、吉川 裕之

監事：岩下 光利、嘉村 敏治、小西 郁生

顧問：吉村 泰典

特任理事：海野 信也、大須賀 穰、荻田 和秀、生水 真紀夫、宮城 悦子

理事会内委員会委員長：竹下 俊行

第 68 回学術集会プログラム委員長：伊東 宏絵

第 69 回学術集会プログラム委員長：三好 博史

幹事長：阪埜 浩司

副幹事長：佐藤 豊実

幹事：上田 豊、梶山 広明、川名 敬、岸 裕司、北澤 正文、桑原 章、佐藤 美紀子、
澤田 守男、寺尾 泰久、西郡 秀和、西 洋孝、西ヶ谷 順子、長谷川 ゆり、松村 謙臣、
矢内原 臨、矢幡 秀昭、山上 亘、吉野 修

議長：佐川 典正

副議長：田村 秀子、光田 信明

弁護士：平岩 敬一

事務局：桜田 佳久、青野 秀雄

1. 議長の選出

午後 3 時 55 分、理事総数 25 名中 23 名が出席し（原田省理事、増崎英明理事は欠席）、
岩下光利監事の発議、理事の互選により青木大輔理事が議長となった。青木大輔理事より、議
事録署名人として本日選出される新理事長および総会後に就任した監事の計 4 名を選任する
ことが提案され、全会一致で承認された。

2. 理事長の選出及び就任受諾ならびに挨拶

青木大輔理事「定款第 25 条 2 項に基づき、理事互選による理事長（代表理事）の選出手続に入り
たいと思います。平成 27 年 4 月 9 日の平成 27 年度次期理事・監事会議において理事長予定者と
して選出された藤井知行理事を正式に理事長（代表理事）としてこの場で選出することに異議は
ありませんか。」

特に異議なく、全会一致で承認された。

3. 新理事長（代表理事）の就任受諾とあいさつ

藤井知行理事長「理事長としてこれから 2 年間、精一杯勤めさせていただきたい。所信について
は先ほどの定時総会閉会後の場で述べさせていただいた通りである。温かい、力一杯のご支援を

どうぞよろしくお願ひしたい。」

4. 副理事長、常務理事の選出 [資料 1]

藤井知行理事長から、木村正理事（渉外）、八重樫伸生理事（教育）に副理事長を委嘱し、常務理事については、青木大輔理事（総務）、吉川史隆理事（会計）、竹田省理事（学術）、加藤聖子理事（編集）、北脇城理事（社保）、吉川裕之理事（専門医制度）、苛原稔理事（倫理）、齋藤滋理事（広報）に委嘱したいとの提案があり、特に異議なく、全会一致で承認された。

5. 幹事長、副幹事長の選任 [資料 1]

藤井知行理事長から、幹事長を阪埜浩司先生に、副幹事長を佐藤豊実先生に委嘱したいとの提案があり、特に異議なく、全会一致で承認された。

6. 顧問の選任 [資料 1]

藤井知行理事長「顧問は今回設定された新しい制度であるが、学会の業務全般について助言をいただける方を理事長が指名して理事会で承認を受けることになる。本会顧問として、現在内閣官房参与の吉村泰典先生にお願ひし、任期は平成 29 年度定時総会までとしたい。」
特に異議なく、全会一致で承認された。

7. 特任理事の選任 [資料 1]

藤井知行理事長「特任理事については、海野信也先生に『女性が安心して出産できる体制づくり、産婦人科地域格差の解消』をテーマに引き続き医療改革委員会を担当いただき、生水真紀夫先生には『若手産婦人科医のキャリア形成を促すとともに、産婦人科の未来の展望を開く』として未来ビジョン委員会と若手育成委員会を合わせた未来委員会で若手の意見をくみ上げながら医師のリクルート問題に当たっていただく。大須賀穰先生には『女性の活躍のための健康維持・向上』、荻田和秀先生には『児童虐待防止のための女性支援』をテーマとして同名の委員会で担当いただきたい。宮城悦子先生には『女性のがん検診とがん予防を促進する』をテーマに子宮頸がんの検診についても取り組んでいただきたい。」
特に異議なく、全会一致で承認された。

8. 理事会内委員会委員長の選任 [資料 1]

藤井知行理事長「理事会内委員会に、臨床研究審査委員会と情報管理委員会を統合して、臨床研究管理・審査委員会を設置した。従来の両委員会の役割に加えて、学会が実施する臨床研究を管理する業務もお願ひしたい。委員長には竹下俊行先生にお願ひしたい。」
特に異議なく、全会一致で承認された。

9. 幹事の選任 [資料 1]

藤井知行理事長より、上田豊、梶山広明、川名敬、岸裕司、北澤正文、桑原章、佐藤美紀子、澤田守男、寺尾泰久、寺本瑞絵、西洋孝、西ヶ谷順子、西郡秀和、長谷川ゆり、松村謙臣、三好博史、矢内原臨、矢幡秀昭、山上亘、吉野修の各先生を幹事に選任したいとの提案があり、特に異議なく、全会一致で承認された。

（顧問、特任理事、理事会内委員長、幹事が入室）

10. 理事、特任理事及び幹事の業務分担 [資料 1]

藤井知行理事長から、理事及び幹事の業務分担案を説明した。

本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

11. 特任理事、幹事団の挨拶

海野信也特任理事「地域基幹分娩取扱病院重点化プロジェクトを進めていきたい。」

生水真紀夫特任理事「リクルートについて、若い先生方の意見を取入れながらやっていきたい。」

大須賀穰特任理事「女性の活躍推進や健康成就に向けた、予防に重きを置いた施策に結び付く提案をしていきたい。」

荻田和秀特任理事「児童虐待防止については各地で多様な取り組みがなされている。これらを線で結んで何か対応できればと考えている。」

宮城悦子特任理事「日本のがん検診受診率は低く、その向上のための有効な提案を考えたい。HPVワクチンについても前向きに進むよう努力したい。」

このあと、幹事一人ずつから挨拶があった。

12. 常置委員会、理事会内委員会について [資料 1]

藤井知行理事長から、各委員会の委員長、副委員長、主務幹事及び委員の委嘱について、説明があった。

藤井知行理事長「いままでの男女共同参画・女性の健康週間委員会を分け、事業対象に合わせて、男女共同参画・ワークライフバランス改善委員会と女性の活躍のための健康推進委員会を設置する。また未来委員会委員には JTOG 委員長、副委員長の板岡奈央先生と宮本雄一郎先生に入ってもらい、未来委員会の中に若手の委員会を作っていただく予定である。学会の他の委員会の中には若手委員会を組織することはせず、ここにまとめて進めるようお願いしたい。また新入会員の出身大学を調べたところ福井、鳥取、滋賀などが多かった。これは学生を産婦人科に導く教育が優れている可能性を意味し、そういった点や地域バランスも考慮して未来委員会委員をお願いしている。」

本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

13. 鑑定人推薦委員会について [資料 2]

藤井知行理事長から、鑑定人推薦委員会委員の委嘱について説明があった。

本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

14. 専門委員会について [資料 3]

藤井知行理事長から、第 1 回臨時理事会で推薦された専門委員会委員について説明があった。

本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

15. 役員の確認書について [資料 4]

藤井知行理事長から、役員の確認書について説明があった。

藤井知行理事長「私から各役員に対して確認書の内容に抵触していないことの確認を行う。新役員の登記を行った後に内閣府に対して新役員を報告する際、確認書を提出する予定であるので

ご了解いただきたい。」
本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

16. 平成 27 年度及び平成 28 年度日本産科婦人科学会予定表について [資料 5]

阪埜浩司幹事長から、平成 27 年度日本産科婦人科学会予定表の修正箇所、及び平成 28 年度日本産科婦人科学会予定表は 8 月の第 2 回理事会で確定させたい旨の説明があった。
平成 27 年度日本産科婦人科学会予定表修正版につき、特に異議なく、全会一致で承認された。

17. その他

①シンガポール産科婦人科学会への講演者派遣について

木村正副理事長「AOCOG の際に、本会とシンガポール産科婦人科学会との間で学術集会の際に講演者を相互に交換して派遣する話がまとまった。8 月末のシンガポール産科婦人科学会の学術集会に近畿大学の万代昌紀先生を派遣することをご承認いただきたい。」
本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

②平成 27 年度諸会議議事録作成幹事予定表について [資料 6]

阪埜浩司幹事長から、幹事の先生方が担当する平成 27 年度諸会議の議事録作成予定表について説明があり、内容を確認した。

③その他

村上節理事「現在、社員総会を年 2 回開催しているが、定時総会は 4 月頃に行われる学術集会の際に開催する方が出席者も多くなるし、役員選任と就任時期のラグも無くなる。また会場費や代議員の交通費の本会会計への負担も減る。公益法人化する際に一度検討されたかもしれないが、会計年度を 1 月締めとすることも考えてみてはどうか。」
藤井知行理事長「これについては運営委員会で検討してもらいたい。」

以上